

ジョイサポコラム No.8

私の大好きなリウマチ診療について

横須賀市立市民病院 浅見由希子

向暑のみぎり、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

併せて、日頃より横須賀市立市民病院へ格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

横須賀市立市民病院でリウマチ科を担当しております浅見由希子と申します。

まずは自己紹介をさせていただきます。

私は横浜市立大学卒業後に(旧)第一内科へ入局しました。大学院博士課程修了後には、横浜市大リウマチ科関連病院に勤務して参りました。中でも、船山医院で非常勤医師として働かせて頂いた折には、船山道敏先生に地域医療につきご指導頂き、とても貴重な経験をさせていただきました。

その後、夫の留学に伴ってボストンへ渡米し、米国ハーバード大学のBrigham and Women's HospitalとThe Forsyth Instituteではラボワークに従事しました。

そして、帰国後に、私が配属されたのが横須賀市立市民病院になります。

横須賀市立市民病院は、臨床から離れていた私が、リウマチ診療を一から勉強し直し、まだ幼かった子供の育児と仕事(臨床)を両立する契機となった特別な場所です。といっても、正直申しまして、いろいろとしんどかった記憶の方が多いです。。特に、救急担当日には、心肺停止の重症症例なども含めて、救急搬送される患者様の診察に、緊張の連続だった事を憶えています。。

そんな“ひよっこ”の私でしたが、どうにかこれまで働き続けてこれたのは、中島秀

明教授・石ヶ坪良明前教授および横浜市大血液・リウマチ・感染症内科医局スタッフと、北村俊治前院長・久保章元院長および横須賀市立市民病院スタッフのおかげにほかなりません。絶えず皆様からご協力頂き、リウマチ医として研鑽を積む機会を頂いたことには感謝の思いで一杯です。

ここで横須賀市立市民病院リウマチ科(横須賀リウマチセンター)の宣伝をさせていただきます。

当院は横浜市立大学血液・免疫・感染症内科学(旧第一内科)の医局より医師が派遣されております。現在常勤(私)1名と非常勤1名で診療にあたっております。関節リウマチ シェーグレン症候群 全身性エリテマトーデス 強皮症 筋炎 血管炎症候群 成人発症ステイル病 ベーチェット病 サルコイドーシス リウマチ性多発筋痛症などのリウマチ膠原病疾患の診療を行っております。

当科は、高齢患者様が多いのが特徴ですが、特に、高齢発症関節リウマチの患者様には全身状態に応じた生物学的製剤を積極的に投与することで、治療ゴールを達成できていると自負しております。また、リウマチ性多発筋痛症の患者様も多くご紹介頂いており、外来ブースにある関節超音波にて速やかに診断評価できる環境も整えております。これは、大学では叶わなかった恵まれた環境であります。よって、これからも当科の利点を生かして、最善の治療を提供していけるように努力してまいります。しかしながら難治症例につ

いては、横浜市立大学附属病院及びその関連病院と連携して治療にあたらせて頂きますので、どうぞご了承頂けます様何卒宜しくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、横須賀市医師会の皆様には、ジョイサポへお誘いいただき、感謝申し上げます。様々な勤務体系でご活躍されている先輩後輩女性医師との交流の場や情

報を提供頂き、本当に嬉しく存じます。若輩者の私は、「家庭と仕事の両立における正解とは何か？」と、毎日葛藤しております。うまくいかないことも多く、日々自信を無くしていく現状ですが、皆様の“声”に、「明日も頑張ろう」と元気を頂いております。これからもどうぞよろしくようお願い申し上げます。

（令和3年7月記載）

